

応急手当を 覚えませんか？

【「あつ！」
と思ったとき

私たちは、いつ・どこで、突然に、生命の危機に陥った人に出会うか分かりません。また、仕事中や日常生活、各種の活動などのいろいろな場面で出会う可能性があります。

【「何を？」しますか

すぐに救急車や医師を要請すると思いますが、救急車が現場に到着するまでに要する時間は、全国平均で約六分、南国市内でも約五〜六分かかります。この間、生命の危機に直面している人にどう対処したらよいのでしょうか。

【「知識」として

救急車が、事故現場に到着して、救命できる確率は、五分後に到着した場合は二十五分です。

また、五分後に到着して救



命のための手当てを開始し、医師に引き渡しても、意識(脈)を回復させることは極めて困難です。なぜなら、脳が酸素なしで生きている時間は、わずか三〜四分といわれていて、これでは、もう元の健康を取り戻すことはできないのです。

【「どうするの？」

このような場合、その場に居合わせた人たちが「秒を争

つて人工呼吸や心肺蘇生法などの救命手当てを行ってください。また、空気の通り道である気道に、食べ物などの異物を詰まらせ窒息状態となった傷病者が発生した場合、速やかに救命手当てを行い、異物除去ができれば障害も後遺症も残りません。

このような速やかな救命手当てが、傷病者の結果を大きく左右することが少なくありません。

【「覚えよう応急手当！」

地震災害や風水害で、同時に多数の傷病者が発生した場合、平常時のように救急隊に期待することは困難です。このような時は、みんなが応急手当を行って、自主救護に努めることが必要です。傷病者がいれば、そのまま放置することなく、誰かがすぐに応急手当を行うような社会にすることが重要です。そのためには、あなたが応急手当を覚えましょう。

【「救命講習受講者募集！」

募集中！

消防署では、市民の皆さんに、応急手当の講習を実施しています。三時間の「普通救命講習」と八時間の「上級救命講習」の二つの講習があります。職場や各種の活動団体の仲間の人たちと一緒に、応急手当を覚えませんか？

一団体「五〜三十人」程度で受け付けています。

なお、場所・時間などは、できるだけご希望に沿うようにしています。

【問い合わせ 消防署救急係

☎3511

新規採用者

(四月一日付け)



退職者

(三月三十一日付け)

- ▼ 藤松佳晃 (企画課)
- ▼ 松下倫子 (税務課)
- ▼ 山口尚 (左区環境課)
- ▼ 中野哲治 (農林課)
- ▼ 立石さゆり (都市計画課)
- ▼ 土居健二郎 (民生課)
- ▼ 門脇智哉 (建設課)
- ▼ 門脇美保 (保健課)
- ▼ 野田かつら (瓶岩幼稚園)
- ▼ 竹村美恵 (白木谷幼稚園)
- ▼ 松下冬美 (久礼田小学校)
- ▼ 田中美帆 (長岡西部保育所)
- ▼ 永野敦子 (後免野田保育所)
- ▼ 岡本圭司 (十市保育所)
- ▼ 墨岩和 (福祉事務所)
- ▼ 井上哲 (同和対策課)
- ▼ 川本百合子 (総務課)
- ▼ 岩原功枝 (園豊保育所)
- ▼ 植野志津代 (国府保育所)
- ▼ 大崎美津 (後免野田保育所)
- ▼ 高橋明子 (稲生保育所)
- ▼ 西村慶子 (長岡西部保育所)
- ▼ 岩原イツ (瓶岩幼稚園)
- ▼ 山脇鶴女 (白木谷幼稚園)
- ▼ 坂本幸子 (長岡東部保育所)
- ▼ 窪田節子 (久礼田小学校)

